

令和5年度 成果報告 産業観光課総括

1. 商工観光関係

- 新型コロナウイルス感染症の影響を受けた事業者支援として、借入に対する利子補給を、新型コロナウイルス感染症対策利子補給基金を取り崩し行った。
- 木曽路・伊那路広域観光連携会議としてのプロモーション事業や、かつての尾張藩をエリアとする地域が連携し、名古屋市が中心となって欧米豪からの集客を目的とした、観光プロモーション事業を展開した。
- 令和5年5月から新型コロナウイルス感染症が5類感染症に変更になり、イベントが徐々に通常開催され、町では実行委員会を中心に、なぎそミツバツツジ祭り、工芸街道祭り、氷雪の灯り祭り、地域では、観月会、花馬祭り、文化文政風俗絵巻之行列等が開催され賑わいを見せた。また、コロナ禍で減少していた観光客入込数についても増加してきている。

2. 農政・農村整備・林務関係

- 中山間地域等直接支払制度の第5期（令和2年度～6年度）と多面的機能支払交付金事業の第2期（令和元年度～5年度）による各協定での取り組みが進められ、農道・水路の維持管理が行われた。
- 飼料肥料の高騰対策として、補助金を交付し農家支援を行った。
- 畜産振興については、町有牛導入事業や素牛導入事業等により肉用牛飼育頭数の維持を図っているが、畜産農家は減っている。また、肉用牛の家畜市場の子牛の平均価格は低下したままである。
- 細の洞地区における小水力発電事業は、令和3年1月から発電及び売電を開始した。令和5年度は約681万円の売電収入を得て、維持管理や基金、学校施設の電気代等他事業への充当を行った。
- 農地の基盤や排水の不具合を解消するための耕作条件改善事業では、水田の改修を行う7件の農家を支援した。
- 森林経営管理制度は、田立地区傘木団地の委託募集と森林整備、4地区目として読書柿其地区中山団地の意向調査を広域と連携して行った。
- 令和5年度から林業担い手支援事業として、新たに林業従事者を育成する事業者に装備費用等4件の補助を行った。
- 有害鳥獣対策として、3基のサル用中型捕獲檻の設置と、くくりワナ等を猟友会に配布し個体数調整を図った。また、柵の設置1か所を実施し、有害鳥獣の侵入防止対策を行った。

【評価】

- 観光協会は、一般社団法人化され4年目となる。旅行業の資格を取得したこと

- から、今後の新たな開発や既存の観光施設を活かした独自の展開が期待される。町は、協会が財政面でも自立できるまで今後も支援を行っていく必要がある。
- 妻籠宿有料駐車場運営事業は、令和4年度から一般会計で賄うこととなった。新型コロナウイルス感染症が5類感染症に変更されたことから、観光客の増加に繋がり使用料収入が増収となった。今後も利用者の増加や運営の合理化を図っていく必要がある。
 - 中山間直接支払や多面的機能支払事業は、自主的な維持修繕で農地を保全できるほか、農家の所得補償にもなっているため今後も継続が必要である。
 - 細ノ洞小水力発電施設は、令和3年1月から供用を開始した。発電により得られた電力を売電し、農業用施設や公的施設の維持管理費等に充てていくため、今年度も安定的な稼働に務めていく必要がある。
 - 森林造成事業等町上乘補助金は、森林組合の民有林搬出間伐の事業に対する支援であり、健全な森林を維持するために今後も必要な事業である。
 - 森林経営管理制度は、意向調査の結果、町管理の意思を示す方が多いので、町による健全な森林整備や森林管理に向けて進めていく必要がある。今年度は4地区目の経営意向調査が行われた。
 - 有害鳥獣駆除事業は、農作物被害及び林業被害防止のため、状況を把握しながら継続的な駆除が必要である。また、鳥獣被害対策実施隊の駆除報償や資格保持者の経費負担の軽減を図り、高齢化し減少しつつある実施隊員の確保を図っていく必要がある。

7 産業観光課所管

1. 商工

(1) 商工振興

○雇用対策について

- ・木曽地区雇用対策推進協議会及び木曽地域就業促進・働き方改革検討会議（7月13日）
木曽地区の雇用情勢等の報告等
木曽地区高校生向け企業説明会、木曽地区就職面接会の開催。
- ・中津川市雇用対策事業との連携（負担金：33千円）
高等学校求人一覧冊子の作成、配布（蘇南高等学校：3冊、木曽青峰高校：1冊）
- ・公共職業安定所の発行する求人情報を窓口を設置（役場、南木曽会館）

○資金融資措置

中小企業の経営基盤確立のため、県及び町の制度資金（設備・運転資金）に係る融資斡旋を商工会及び県信用保証協会並びに金融機関と連携して実施した。

融資額は、新型コロナウイルス対策の融資が減少したことにより、令和5年度は令和4年度と比べ、大幅な減額（110,530千円）となった。融資内容としては、運転資金及び創業支援となった。

令和5年10月よりセーフティーネット保証4号を取得しての新規融資は終了し、借り換えのみまたは借り換え＋新規での追加融資のみが利用可能に制度が変更された。

- ・町中小企業振興資金（年利2.0%）

預託金 総 額 21,500千円

八十二銀行 11,000千円 岐阜信用金庫 6,500千円

木曽農協 4,000千円

- ・融資の状況

町制度資金 1件 2,500千円

県制度資金 6件 117,520千円

計 7件 120,020千円

※経営健全化支援資金（新型コロナウイルス対策） 2件 85,000千円

経営健全化支援資金（特別経営安定対策） 1件 19,000千円

信州創生推進資金（創業支援向け） 3件 13,520千円

- ・制度資金あっせんによる保証料補給

町制度資金 1件 79千円

県制度資金 6件 1,220千円

計 7件 1,299千円

※経営健全化支援資金（新型コロナウイルス対策） 2件 651千円

経営健全化支援資金（特別経営安定対策） 1件 293千円

信州創生推進資金（創業支援向け） 3件 276千円

- 新型コロナウイルス感染症の影響を受けての事業者支援関係（災害影響による借入に対する利子補給）

- ・セーフティーネット制度資金利子補給事業

令和4年度に臨時交付金を活用し利子補給基金を設立した。セーフティーネット保証制度で

4号認定された中小事業者で、長野県経営健全化資金及び町中小企業振興資金の融資を受けた場合に、保証料の補助を行った。

令和5年度分	融資保証料	3件	944千円
	利子補給金	3件	653千円

計 1,597千円

令和2年度	28件	2,465千円	※運転資金27件、設備投資1件
令和3年度	13件	856千円	※運転資金9件、設備投資4件
令和4年度	10件	1,509千円	※運転資金8件、設備投資2件
令和5年度	3件	653千円	※運転資金3件、設備投資0件

- ・基金積立金 13,000,000円（国費：12,000,000円、町費1,000,000円）
- ・基金繰入金 令和4年度 4,855,153円 利息 35円
令和5年度 4,830,303円 利息 86円
- ・基金残高 3,314,665円

○小規模事業者への指導

- ・小規模事業指導費として南木曽商工会に5,500千円を交付。経営指導、融資斡旋等を実施。
- ・地域内消費拡大事業補助金として、なぎそ・おたのしみカード会に100千円を交付。
- ・カード・商品券事業を実施。

○木材、木工業の振興

- ・ウッディ・クリエイト・ナギソ（WCN）の事業に145千円を交付。
- ・第38回南木曽町小学生木工造形コンクールの実施（展示は町民展と同時開催）
応募作品136点

○木材産業体験事業

- ・町内木工事業者の協力により、南木曽小学校3年生が総合的な学習「南木曽の木を知ろう」で、間伐材を利用した木製テーブル・ベンチ作りを行った。ベンチ8台を町内観光地等へ配置した。
事業費 53千円（町：53千円）
設置場所：かぶと観音、新町公衆トイレ、天白公園、東山公園

○伝統工芸品の振興

- ・イベント・物産展へ参加してのPR及び販路拡大を図れなかったが、町内の伝統工芸の後継者育成と振興を図るため次の団体に助成を行った。
- ・「南木曽ろくろ細工」（国指定伝統的工芸品） 南木曽ろくろ工芸協同組合 350千円
- ・「蘭檜笠」（県指定伝統的工芸品） 蘭檜笠生産協同組合 350千円
- ・「田立和紙」 田立和紙保存振興会 300千円

○木曽勤労者共済会

- ・会 員 数 168名（令和6年3月末現在）
- ・加入事業所数 32企業
- ・共済給付事業 祝 金 23件 194,000円
見舞金 10件 229,000円
弔慰金 13件 550,000円

- ・融資事業（生活資金・住宅改良資金） 0 件
町村預託金 2,000 千円 長野県労働金庫木曽福島支店
- ・人間ドック利用補助 16 件 56,322 円
- ・一般検診 0 件 0 円
- ・勤労者共済会組織町村負担金 964,994 円

（２）消費生活

○消費者相談等への対応

- ・町への苦情相談問い合わせ件数 1 件（内 電話勧誘：1 件、訪問販売：0 件、警察・消防へ通報・情報提供：0 件、放送による周知：0 件、不明：0 件、県消費生活センター斡旋：0 件）
- ・広報誌、広報無線などで被害防止の周知活動を必要な都度実施

○リサイクル運動 廃油の回収

※令和元年 7 月以降、中津川市の業者に無料回収を依頼している。

（３）運輸関係

○中央西線輸送強化期成同盟会部会

木曽地域交通網対策協議会で、JR への要望活動を実施。

令和 6 年 1 月 12 日 「長野県 JR 連絡調整会議」（県庁）

令和 6 年 3 月 12 日 JR 東海本社への要望活動

○南木曽駅窓口業務の受託（平成 24 年 10 月 1 日～）

J R 東海の南木曽駅無人化を受け、窓口での乗車券類の販売業務を町が受託して実施。

- ・窓口営業時間 午前 7：50～午後 4：05
(昼休憩 11：10～11：30 12：35～13：15)
- ・業務時間 午前 7：30～午後 4：30
- ・窓口従事者 1 人体制
 - 乗車券類販売額 49,049 千円 (R 4 31,018 千円) ※前年比+58%
 - 販売手数料 2,274 千円 (R 4 1,228 千円) ※前年比+85%
 - ※販売額の乗車券 5 %、定期券 1.8%
- ・運営経費 4,290 千円 (委託料:4,026 千円 使用料:205 千円 備品 59 千円)
※R 4 4,163 千円 (委託料:4,000 千円 使用料:163 千円)

（４）地元特産品の宣伝等

○工芸街道祭り（実行委員会主催）

11 月 4 日～11 月 5 日

2. 観光

（１）観光行事、イベント関係

- 第 21 回なぎそミツバツツジ祭り（実行委員会主催） 4 月 8 日～16 日（土・日のみ）
- 与川古典庵の観月会 9 月 29 日
- 田立の花馬祭り 10 月 1 日

○工芸街道祭り（実行委員会主催）	11月4日～11月5日
○文化文政風俗絵巻之行列	11月23日
○新春狼煙上げ	1月4日
○氷雪の灯祭り（実行委員会主催）	2月17日

（２）観光施設

○観光施設工事関係 合計 5,259,000 円（観光施設災害復旧費） [別表]

- ・田立の滝登山道災害復旧工事

○観光施設、登山道、歩道等の維持管理（草刈、小修理など）

合計 4,169,891 円（観光施設管理経費 一般修繕料）

- ・南木曽岳登山道（蘭側ルート）笹狩り、ツツジ園外灯 LED 化、公共サイン修繕ほか
- ・南木曽駅、十二兼駅、田立駅、柿其溪谷遊歩道、河川公園、S L 公園、他
- ・天白公園ツツジ園、駐車場 シルバー人材センターへ整備作業を委託して実施しているほか、地元業者へ、つる草の撤去を発注した。また、ツツジ祭り開催前には、ボランティア作業による環境整備を実施した。

○観光案内板等の小修理、維持管理

- ・田立の滝、南木曽岳、柿其溪谷、中山道（与川道）、妻籠宿、他

○福沢桃介記念館と山の歴史館 指定管理委託：桃介橋河川公園組合

（指定期間）令和3年4月1日から令和8年3月31日まで（5年間）

指定管理料：1,700,000 円（河川公園と併せて）

（利用状況）

（単位：人）

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	3月	合計	R4実績
282	172	127	86	137	120	206	194	29	1,353	1,740

※12月～3月下旬まで冬季閉館

※令和5年度は令和4年度に比べて21.7%減少した。

（３）広域観光連携の取り組み

○木曽観光連盟・観光宣伝協議会と連携した取り組み

- ・タイアップポスターによる宣伝
- ・デジタルサイネージによる宣伝
- ・木曽路宿場町散策ガイドのWEB更新
- ・観光宣伝基盤の整備（紙媒体の発行）
- ・電子媒体の整備（ホームページ、Facebook、Instagramで情報発信）
- ・ガイド育成（御岳古道、与川道）
- ・イベント参加、JRさわやかウォーキングでのパンフレット、グッズ配布

○伊那路・木曽路広域観光連携会議との連携

- ・伊那路木曽路広域連携会議 年3回
- ・プロモーション部会 年5回
- ・ツーリズムEXPOジャパン 10月26日～29日 インテックス大阪
- ・3地域連携造成商品のモニターツアー実施

○尾張藩連携事業推進協議会との連携

かつての尾張藩に所縁のある名古屋市、犬山市、郡上市、下呂市、中津川市、塩尻市、木曽郡 6 町村の自治体と民間企業が連携し、名古屋を起点とする昇龍道中央エリアを周遊する尾張藩周遊ルートを新たに形成し、欧米豪からの集客を目的とした広域観光プロモーションを実施するために令和元年度に尾張藩連携事業推進協議会を設立し、名古屋市が中心となってプロモーション事業を行っている。

- ・ 英国市場に向けた販路形成及び商品造成事業
- ・ 国内プロモーション事業 11 月 18～19 日 名古屋城
- ・ WEB 運営及び PR ツールの活用、パンフレット作成。

○日本遺産木曽路活用検討部会との連携

中山道木曽路ルネッサンス事業を実施し、中山道木曽路全区間を踏査しマップの作成、アンケート調査、宿場カルテの作成、有識者からの意見聴取を行った。

○中央アルプス山岳観光協議会との連携

- ・ 夏山気象情報提供サービス
- ・ 観光宣伝用パンフレットの作成及び配布

(4) 観光協会等

○（一社）南木曽町観光協会 （町補助金：10,000 千円）

- ・ 長野県観光機構の「令和 5 年度持続可能な観光地づくり推進事業」モデル地域に選定され（GSTC：グローバル・サステナブル・ツーリズム協議会）の国際基準を学びながら南木曽町の観光まちづくりについて検討した。
- ・ 令和 4 年度に整備した音声ガイドアプリ「おともたび南木曽・中山道編」の運用を開始した。今後も利用拡大に向けて検証し、出てきた課題について解消に努める。
- ・ 南木曽町大学連携事業として、南木曽町に訪れる外国人観光客に対してお困りアンケートを実施した。
- ・ 伊那路木曽路広域連携会議の事業の一環として、世界最大の旅行博であるツーリズム EXPO（会場：インテック大阪）に出展した。
- ・ ふるさと全国県人会まつり 2023（会場：名古屋城）に出向き、観光 PR を行った。
- ・ 南木曽駅観光案内所 1 日 1 名（年末年始除く。観光客案内、駅前公園の清掃等）
- ・ メディア関係広告掲載
- ・ 新聞広告、旅行紙広告に掲載（年間随時）
- ・ 各種取材、TV 放送取材の対応
- ・ 南木曽町観光協会公式 HP「ぶらり南木曽」英語版、スマホ英語版の対応管理運営
- ・ ぶらりなぎそ等観光パンフレットの更新及び印刷
- ※町からの委託業務
- ・ 南木曽駅切符販売業務（委託料 4,020 千円）
- ・ 南木曽駅前公衆トイレ管理（委託料 500 千円）
- ・ 南木曽町観光宣伝業務（委託料 4,856 千円）

○木曽観光復興対策協議会

観光業を中心として御嶽山の噴火により深刻な影響を受けた木曽地域の復興を図るため、県、

郡内町村、木曽広域連合、木曽観光連盟、木曽郡内観光協会等で組織する協議会を平成 26 年度に設立したが、その役割を終了し令和 5 年度の総会をもって解散した。

○町加盟団体：木曽観光連盟、長野県観光連盟、みなみ木曽路連絡協議会、中央アルプス山岳観光協議会、日本桜の会、国有林観光施設協議会、日本の森滝渚全国協議会、木曽地区温泉協会、全国街道交流会議、信州まつもと空港利用促進協議会、南木曽伝統工芸の森育成協議会、伊那路木曽路広域観光連携会議、尾張藩連携事業推進協議会

○南木曽駅観光案内所対応件数 （※窓口で対応した件数・人数。外国人は通過者数。）

		4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
問 合 件 数	R 5	1,051	999	700	741	802	814	1,025	989	376	312	399	823	9,031
	R 4	325	413	294	209	245	284	525	662	325	253	308	744	4,587
	R 3	316	231	144	158	182	220	363	439	172	108	91	238	2,662
	R 2	99	8	134	133	192	277	449	452	218	80	144	271	2,457
案 内 人 数	R 5	2,859	2,299	1,600	2,008	1,835	1,815	2,442	2,207	812	713	881	1,959	21,430
	R 4	647	732	481	387	462	535	1,180	1,453	664	487	632	1,804	9,464
	R 3	564	417	226	287	280	321	653	789	265	140	145	363	4,450
	R 2	160	12	224	246	322	504	818	946	341	97	222	409	4,303
外 国 人	R 5	5,063	3,486	2,334	3,435	3,251	3,761	5,995	4,861	1307	788	861	3,481	38,623
	R 4	31	67	40	122	74	111	594	1,132	490	345	448	2,281	5,735
	R 3	53	60	20	32	21	52	56	77	11	12	7	21	422
	R 2	48	4	45	49	44	56	86	96	37	1	28	34	528

○観光客入込数

単位：人

	妻籠宿	柿其溪谷	田立の滝	南木曽 山麓	南木曽 温泉郷	富貴畑高原 温泉郷	合計
R 5	306,500	16,600	3,800	14,800	126,900	13,300	481,900
R 4	191,600	13,100	7,500	15,500	134,200	9,900	371,800
R 3	139,300	3,500	8,500	12,300	83,200	6,600	253,400
R 2	167,300	7,800	6,800	17,200	97,900	8,400	305,400
R 元	386,700	13,500	4,900	18,400	184,700	13,200	621,400

○中山道馬籠峠を越える外国人ハイカー [(公財) 妻籠を愛する会調べ]

地点：一石栃立場茶屋

単位：人

R 4	4,823	R 3	859	R 2	1,138	R 元	37,823
-----	-------	-----	-----	-----	-------	-----	--------

R 5	41,114
-----	--------

3. リニア中央新幹線関係

○中津川市・塩尻市・木曽・下伊那広域連携 SDG, s 推進協議会との連携

リニア開業を見据え、圏域内の共通する地域資源を活かし、広域で SDG, s を推進する取り組みを進めるため、令和 5 年 8 月 2 日に設立総会が行われ令和 6 年度から計画している事業について協議を進めた。

○南木曽町リニア活用検討委員会

リニア中央新幹線の開設に伴い、リニア中央新幹線のもたらす効果を町づくりに最大限活かしていくため、令和 2 年 3 月策定の「南木曽町リニア活用基本構想」の実現に向けた取り組みを、より具体的に進めることを目的に、南木曽町リニア活用検討委員会を設置した。

・第 1 回活用検討委員会 令和 6 年 2 月 20 日 南木曽町役場会議室

令和５年度商工観光関係主な建設事業及び補助事業

単位：千円

事業名	事業箇所	事業量	事業費	左の財源				内 容		備 考
				の 財 源						
				国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源		
田立の滝登山道災害復旧工事	南木曽町田立	建設工事 L=16.0m	4,896						4,896	工事請負費
		設計監理 一式	363						363	委託料
合 計			5,259						5,259	

単位：千円

4. 駐車場一般管理費

(1) 指定管理者制度

・令和3年度からの指定管理者について、減収を続けている駐車場会計を考慮し指定管理料の積算を全面的に見直し13,700,000円とした。公募したところ「(公財)妻籠を愛する会」のみが申請し審査の結果、令和3年度から令和7年度までの指定管理者となった。

令和4年度に物価高騰の煽りを受け、指定管理料の見直しについて(公財)妻籠を愛する会から増額の申し出があったため、指定管理料の試算を行い協議した結果、800,000円増額し、14,500,000円とした。増額の主な原因は、人件費・電気料である。

(2) 収支の状況(令和4年度から一般会計へ移行)

歳入総額	19,670,241円
歳出総額	19,041,841円(内歳入充当予算額:19,002,000円)
差引額	628,400円

※一般会計へ移行していますが、決算額を示すうえで例年どおりの表とした。

次年度への繰越金は一般会計全体で処理されます。

○歳入の状況

(単位:円)

科目	令和5年度	構成比	令和4年度	増減
1. 使用料及び手数料	19,630,590	99.80%	15,667,790	3,962,800
2. 繰越金	0	0.00%	0	0
3. 一般財源	39,651	0.20%	3,633,820	△3,594,169
4. 財産収入	0	0.00%	0	0
歳入合計	19,670,241	100.00%	19,301,610	368,631

歳入の決算額は、19,670,241円で、このうち駐車場の使用料は19,630,590円となり令和4年度比プラス25%、3,962,800円の増額となった。(予算では、過充当にならないように使用料及び手数料は19,002,000円を計上し、一般財源を39,651円で調整した。)

使用料増額の原因は、新型コロナウイルス感染症が5類に移行したことにより、観光客の増加に繋がり増額したと考えられる。

○歳出の状況

(単位:円)

科目	令和5年度	構成比	令和4年度	増減
1. 駐車場一般管理費	19,041,841	100.00%	19,301,610	△259,779
(内 駐車場管理委託料)	(14,500,000)	(76.15%)	(13,700,000)	(800,000)
歳出合計	19,041,841	100.00%	19,301,610	△259,769

駐車場一般管理費の内訳

(単位:円)

科目	令和5年度	構成比	令和4年度	増減
旅費	0	0.00%	0	0
需用費	780,720	4.10%	1,447,455	△666,735
役務費	0	0.00%	108,434	0
委託料	14,500,000	76.15%	13,700,000	0

使用料及び賃借料	3,761,121	19.75%	3,761,121	0
負担金補助及び交付金	0	0.00%	0	0
補償・補てん及び賠償金	0	0.00%	0	0
積立金	0	0.00%	0	0
公課費	0	0.00%	234,600	△234,600
繰出金	0	0.00%	0	0
委託料	0	0.00%	0	0
工事請負費	0	0.00%	0	0
合計	19,041,841	100.00%	19,301,610	△260,369

歳出の決算額は、19,041,841 円で、前年度に比べ 260,369 円の減額となった主な原因として、一般会計に移行したため、役務費（建物保険代）、消費税、繰り出し金がなくなったことによるものである。※保険代は、総務課で町有建物一括支払いとなった。

（３）事業の実績

○営業期間 令和５年４月１日から令和６年３月３１日まで

※第１・第２駐車場は、１２月３１日を除き毎日営業を行った。

※第３駐車場は、４月～１１月の土・日・祝日に営業を行い、１１月２４日～３月３１日は休みとした。

○営業時間 午前８時３０分から午後５時００分まで（３月～１１月）

午前８時３０分から午後４時００分まで（１２月～２月）

○駐車料金 二輪車 ２００円、普通 ５００円、マイクロバス １,５００円、バス ２,０００円

○利用状況

令和５年度 町営駐車場利用状況

（単位：台）

	バス		マイクロ		普通車		二輪車	
	５年度	４年度	５年度	４年度	５年度	４年度	５年度	４年度
４月	237	120	17	9	2,573	2,076	140	129
５月	228	113	15	10	3,748	3,481	491	451
６月	123	46	21	5	1,641	1,415	106	95
７月	91	43	14	6	2,183	1,731	161	96
８月	103	40	13	2	3,403	3,137	185	125
９月	112	55	17	9	2,959	2,233	302	177
１０月	251	166	39	22	4,153	3,643	366	302
１１月	253	163	32	19	4,000	3,155	191	135
１２月	135	58	12	9	1,087	1,129	4	14
１月	106	20	15	7	836	755	1	0
２月	146	72	15	7	956	778	14	5
３月	208	207	20	14	1,477	1,706	46	49
合計	1,993	1,103	230	119	29,016	25,239	2,007	1,578
比較	+890		+111		+3,777		+429	

5. 地域交流

○「日本で最も美しい村」連合

- | | | |
|---------------|-------------|---------|
| ・長野県会議 | 4月18日～19日 | 高山村 |
| ・担当学会議、ブロック会議 | 4月27日～28日 | 東京都 |
| ・定期総会、研修会 | 6月28日～6月30日 | 北海道標津町 |
| ・長野県会議現地研修会 | 7月27日～7月28日 | 栃木県那珂川町 |
| ・担当学会議 | 10月27日～28日 | 東京都 |
| ・金山イベントPR活動 | 11月1日～12日 | 名古屋市金山駅 |
| ・関東中部ブロック会議 | 12月7日 | Web会議 |
| ・関東中部ブロック会議 | 2月22日 | 中川村 |
- ・通年 季刊誌、パンフレット情報の更新。取材対応

○長久手市との交流

- | | | |
|--------|--------------------|-------------------|
| ・通年 | 新生児祝い品事業 | 実績数：444件（R4：553件） |
| ・8月9日 | 平成こども塾受け入れ（マスつかみ等） | 南木曽町 |
| ・11月4日 | 長久手楓まつり | 長久手市 |

○上下流交流

- | | | |
|-------------------------|--------|-------------|
| ・第1回上下流実行委員会 | 4月24日 | 木曽広域連合 |
| ・第2回上下流実行委員会 | 9月11日 | Web会議 |
| ・第3回上下流実行委員会 | 11月7日 | Web会議 |
| ・第17回木曽三川と堀川・上下流をつなぐ交流会 | 7月22日 | 木曽町、王滝村 |
| ・木曽三川と堀川・上下流をつなぐ交流会 | 12月10日 | 名古屋市内 ※住民対象 |

○木曽三川流域連携

- | | | |
|--------|--------------------|-------|
| ・5月16日 | 第1回木曽三川流域連携課長会議 | Web会議 |
| ・5月31日 | 木曽三川流域連携シンポジウム | 名古屋市 |
| ・6月4日 | 木曽三川マルシェ（なごや水フェスタ） | 名古屋市 |
| ・8月28日 | 第2回木曽三川流域連携課長会議 | Web会議 |
| ・9月23日 | 第12回木曽三川流域自治体サミット | 一宮市 |
| ・2月14日 | 第3回木曽三川流域連携課長会議 | Web会議 |

5. 農政関係

(1) 農業委員会事務局関係

① 定例農業委員会

- ・開催回数 12回（毎月）

② 審議、活動等内容

- ・農地案件の現地確認調査、審議
- ・農業経営基盤強化促進法による利用権設定の審議
- ・農地利用の最適化にむけた地区懇談会への参画
- ・転作の現地確認 ・中山間直払等現地確認
- ・遊休農地に関する措置の状況調査
- ・農地無断転用防止のパトロール活動
- ・農作業安全運動推進PR ・農作業標準料金の審議
- ・農地農家台帳システムの整備（eMAFF等への移行）
- ・町内各生産部会等への参画
- ・全国農業新聞普及、拡大の取り組み
- ・長野県農業委員大会と各種研修会（県農業会議・情報活動・郡事務研）への参加

③ 農業委員名簿

ア. 農業委員（任期 令和3年2月15日～令和6年2月14日）

氏名	担当地区	備考	氏名	担当地区	備考
伊藤 兼彦	妻籠	地区推薦	小倉 勉	与川・三留野	地区推薦
早川 親利	三留野・妻籠	地区推薦	山川あゆみ	与川・三留野	地区推薦
片田 恵	田立・妻籠	団体推薦	青木 房江	蘭・広瀬	団体推薦
高橋 徳	田立	地区推薦	古川 和久	蘭・広瀬	地区推薦
松原 徳則	与川・三留野	地区推薦	松原 正典	与川・北部	地区推薦
古井小恵子	田立	地区推薦	11名		

イ. 農地利用最適化推進委員（任期 令和3年2月15日～令和6年2月14日）

氏名	担当地区	備考	氏名	担当地区	備考
松原 規行	読書全域	地区推薦	松下 建三	吾妻全域	地区推薦
小幡 悟	田立全域	地区推薦	3名		

ア. 農業委員（任期 令和6年2月15日～令和9年2月14日）

氏名	担当地区	備考	氏名	担当地区	備考
高橋 徳	田立	地区推薦	原 益美	妻籠	地区推薦
早川 親利	三留野・妻籠	地区推薦	古川 和久	蘭・広瀬	地区推薦
松原 徳則	与川・三留野	地区推薦	古澤 学	与川・上の原	地区推薦
松原 正典	与川・北部	地区推薦	山川あゆみ	三留野・与川	地区推薦
片田 恵	田立	団体推薦	古井小恵子	田立	地区推薦
志水みち代	蘭・広瀬	団体推薦	11名		

イ. 農地利用最適化推進委員（任期 令和6年2月15日～令和9年2月14日）

氏名	担当地区	備考	氏名	担当地区	備考
松原 規行	読書全域	地区推薦	伊藤 兼彦	吾妻全域	地区推薦
松原 弘文	田立全域	地区推薦	3名		

④農地関係取扱件数

(面積は小数点以下第1位で四捨五入)

内 容	件数	面積(㎡)
農地法第3条による所有権移転 (売買等による農地の所有権移転)	14	21,650
農地法第4条による農地転用 (所有者による農地以外への転用)	2	240
農地法第5条による農地転用 (所有権移転または貸借等の権利設定を伴う農地以外への転用)	6	6,538
公共的事業等に伴うによる農地転用	1	1,159
非農地証明	2	474

参考：農地以外への地目変更面積 8,411 ㎡

(2) 農業振興関係

①経営所得安定対策と米政策

経営所得安定対策では、米・麦・大豆等について、需要に応じた生産の促進と水田農業全体としての所得向上等により、農業経営の安定を図るため実施されている。町では木曽郡農業再生協議会を中心に米及び有利な転作作物の推進を図った。

町内農家等に交付された交付金は総額 7,607 千円(R4年度 7,079 千円)となった。

ア. 水田活用の直接支払交付金

・戦略作物助成 (前年)

作物名	単価 (円/10a)	面積(㌥)	交付金額(円)
大豆	35,000	8 (8)	28,000 (28,000)
飼料作物(播種有)	35,000	279 (140)	976,500 (490,000)
飼料作物(播種無)	10,000	163 (325)	163,000 (325,000)
発酵用稲 (WCS)	80,000	596 (539)	4,768,000 (4,312,000)
合 計		1,046 (1,012)	5,935,500 (5,155,000)

・県、郡産地交付金

	単価(円/10a)	交付金額(円)
産地交付金	※下記単価参照	1,671,919 (1,924,147)

水田における生産性向上等の取組助成(そば 4,651 円、大豆 6,891 円、飼料作物 6,999 円、WCS用稲 19,059 円)高収益作物の取組助成(ハクサイ・スイートコーン・赤カブ 21,858 円、インゲン・トマト・エゴマ・トルコギキョウ・小菊・啓翁桜 17,551 円、エゴマ 17,659)そば作付への助成(20,000 円)

イ. 水田農業共同利用施設整備事業補助金

事業主体 木曽農業協同組合

事業内容 本年度は無

ウ. 木曽産米「初恋」の販売実績(JA南木曽営農資材センター分)(千円)

	R4	R5
初恋売上額	5,050	5,720

②地域農業対策

地域営農体制の整備、農地の有効活用により持続的な農業生産を可能とする農業構造を構築するため、各種の取り組みを実施した。

ア．農業関係制度資金利子補給金 0 件

イ．農業振興小規模資金及びつなぎ資金関係

令和 5 年度利用実績 0 件 貸付現在高（令和 5 年度末） 0 件 0 円

ウ．農振農用地一般管理事業

編入面積 0 m² 除外面積 0 m² 用途変更 0 m²

エ．農地利用集積計画

利用権設定面積（農業経営基盤強化促進法に基づくもの）

年度	設定面積	年度末計画面積合計
令和元年度	5.3ha	25.7ha
令和 2 年度	8.2ha	22.2ha
令和 3 年度	5.8ha	25.0ha
令和 4 年度	6.7ha	24.8ha
令和 5 年度	7.2ha	23.6ha

（設定面積は該当年度における利用権の新規設定及び更新の合計）

オ．人・農地プラン

中山間直接支払集落協定毎に 10 年後の農地利用に関するプランを作成し令和 2 年度から公表している。

町はプランの随時見直しを推奨し各集落協定に話を促していたが、国が農業経営基盤強化促進法の一部改正を翌年度に行うとしたことにより、人・農地プランは「地域計画」として法定化され新たな計画の作成が必要となった。

カ．肥料高騰緊急対策補助金

コロナ禍による肥料高騰対策として、令和 5 年 4 月 1 日から令和 6 年 2 月 28 日（秋肥・春肥）までの間に購入した肥料の費用に対して 1 割を補助した。

（新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金事業）

補助件数 157 件 補助金 1,419,600 円

③中山間地域等直接支払制度

中山間地域等直接支払制度は第 5 期対策（令和 2 年度から令和 6 年度まで）を町内 26 の集落協定で実施中。

交付金 35,206,263 円（内訳：国 17,603,124 円 県 8,801,548 円 町 8,801,591 円）

集落名	面積（m ² ）	交付金（円）	集落名	面積（m ² ）	交付金（円）
与川一区	87,926	1,716,666	橋場	51,246	1,052,033
与川三区	73,814	1,468,194	大妻籠下り谷	61,300	1,276,299
与川四区	67,033	1,319,749	上在郷	48,689	1,119,729
与川五区	32,675	686,175	尾越	21,802	457,842
十二兼	34,588	669,256	上段	53,448	1,122,408
本谷	81,034	1,701,714	蘭	18,864	396,144
岩倉	84,089	1,842,963	元組	86,704	1,820,784
椰野	20,850	437,850	向栗畑	104,036	2,142,476
川向	27,712	409,209	栗畑	118,324	2,416,313

上の原	133,342	3,120,823	下切	80,922	1,812,148
神戸	31,351	706,491	大野	64,386	1,628,496
渡島	11,326	203,231	正兼	80,782	2,071,230
妻籠町上	40,112	818,604	塚野	129,038	2,789,436
			合 計	1,645,393	35,206,263

④園芸特産振興事業

ア．茶の振興関係

・田立製茶工場

操業 5 月 1 日～5 月 22 日（22 日間）生葉受入 10.0 トン（前年度 13.0 トン）
遅霜の影響で収穫量が減じた。

・第 50 回長野県茶の共進会

開催日 7 月 19 日（水） 場所 天龍村老人福祉センター

総出品点数 10 点（内、町内出品点数 4 点）

町内入賞者 県知事賞 岡庭 緑朗

2 等賞 白金 恒行

3 等賞 長渕 浩

イ．野菜関係

農家の自主的運営で野菜の直売や道の駅、A コープで販売されている。

・野菜自動販売機の設置

令和 4 年度にコロナ禍により集客イベントの開催が自粛傾向にあるなか、人の密を避けた販売機会の確保として、野菜の自動販売機を 3 機購入し設置した。

野菜自動販売機設置 3 箇所（駅前広場、天白公園、南木曾会館駐車場）

（新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金事業）

販売状況を見て、売り上げの少ない分庁舎前（上仲町）から南木曾会館駐車場へ 11 月から移動した。

野菜自動販売機売上

駅前広場	天白公園	分庁舎（11 月から会館）
51,500 円	11,600 円	4,400 円

その他、町内の個人設置無人販売所 1 箇所（田立）

・地産地消関係

地元消費拡大を目的に生産、販売、商工、観光、学校関係者で「地産地消推進協議会」を組織して軽トラ市場部会と学校給食部会が活動を行った。

軽トラ市場は、昨年と同様に長雨と高温の影響で野菜の生育が悪く、販売できる量の確保が困難だった。年金支給日に合わせて農協駐車場で開催することができ、新規顧客獲得につながった。7 月から 12 月まで毎月開催できた。

学校給食の食材供給者に対する補助は、例年どおり運搬費補助を実施した。

軽トラ市場なぎそグリーンマーケット開催状況（ ）は前年数値

開催数	売上合計	延べ出店者数	主な開催場所
6 回 （4 回）	107,100 円 （142,500 円）	15 店 （16 店）	南木曾駅横駐車場 J A 木曾南木曾金融店

学校給食食材提供運搬補助実績 () は前年数値

【小学校】			【中学校】		
延べ回数	補助額 (円)	売上合計 (円)	延べ回数	補助額 (円)	売上合計 (円)
154 回 (168 回)	50,860 円 (43,580 円)	265,791 円 (307,109 円)	181 回 (253 回)	41,030 円 (50,240 円)	364,868 円 (449,096 円)

ウ. 花卉・花木関係

各農家が J A を通じて出荷を行った。

出荷数量

品 種	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
ヒペリカム	3,160 本	3,160 本	2,810 本	3,170 本	1,550 本
こうやまき	29,377 本	30,614 本	37,725 本	26,843 本	26,765 本

エ. 園芸特産品振興事業補助金

パイプハウス設置事業補助金 実績なし 【補助率 1/2 上限 30 万円】

オ. みつばちふそ病関係

ふそ病検査を、松本家畜保健衛生所に協力して実施した。(対象戸数 4 戸)

ふそ病の発生の確認なし。

広報誌により新規飼養者への届出等の必要性について周知を行った。

⑤ 畜産振興事業

ア. 家畜飼育状況 (令和 6 年 3 月現在) (単位: 頭)

年度	乳 牛		肉用牛	
	農家数	成乳牛数	農家数	繁殖牛数
R 元	1	22	8	71
R 2	1	22	8	76
R 3	0	0	7	83
R 4	0	0	6	77
R 5	0	0	6	66

イ. 家畜市場 (子牛) 状況の推移 (令和 6 年 2 月末現在) (単位: 千円)

年度	雌		去 勢		子牛全体		売上合計
	頭数	平均金額	頭数	平均金額	頭数	平均金額	
R 元	18	669	26	782	44	747	32,883
R 2	24	603	30	705	54	660	35,633
R 3	15	587	34	732	49	687	33,677
R 4	21	536	26	613	47	579	27,212
R 5	22	448	27	468	49	459	22,489

ウ. 家畜診療関係

平成 16 年度から NOSAI 長野中信地域センター (旧 NOSAI 中信診療所) へ委託。

令和 5 年度負担金 568,000 円

エ. 畜産振興事業補助金

素牛導入事業

- ・素牛導入 0頭 補助金 0円 【補助率 1/2 上限 30万円】
- ・自家保留 1頭 補助金 60,000円 【定額 6万円/頭】

オ. 町有牛導入事業

導入 0頭 譲渡 2頭 1,364,142円
へい死 1頭 損害賠償額 564,989円
年度末保有町有牛 2頭 評価額 計 1,626,005円

カ. 飼料高騰緊急対策交付金

コロナ禍による配合飼料高騰対策として、家畜の種類、飼養頭数に応じて給付金を交付した。また、養魚所へも給付金を交付した。

(新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金事業)

補助金単価 牛 10,000円/頭 山羊・羊 3,000円/頭 養魚所 30,000円/件

補助金 1,809,000円

内訳 牛 6件 1,350,000円 山羊 1件 261,000円 羊 2件 108,000円

養魚所 3件 90,000円

キ. 長者畑草地関係

長者畑草地利用組合の解散により、令和元年度から町管理となった。

返地に向けて木曽森林管理署との協議を進める予定だったが、JRのリニア残土処理場の候補地となったため、返地協議を中断し残土処理候補地として協議している。

ク. 大原公共採草地管理関係

大原公共採草地管理組合（組合員 3戸）

牧草を播種し草地として利用を継続している。

一部を公共工事の残土処理場として施工している。施工後は複数のほ場を一つにまとめたほ場として復旧する。

ケ. 放牧関係

牛の放牧は、遠方で管理することの負担が大きいため減少傾向にあるが、畜舎の近隣での放牧は継続して行っている。

牛の放牧の他、綿羊(サフォーク種)の放牧は引続き実施している。牛に比べて移動が容易である等のメリットはあるが、個体数が少なく需要に追いついていない状況である。

放牧期間・面積 5月から10月（6カ月）約 5.5ha

主な放牧場所：与川・柳野・上の原・塚野

コ. 畜産クラスター事業関係

畜産農家、JA、県、町で構成する繁殖和牛生産振興ネットワーク協議会の事業。自給飼料の拡大や機械導入を計画、実施していく協議会。

○機械導入事業等

実施農家 1戸

ディスクモア 1台

価格 1,280,000円 補助金 640,000円 【補助率 1/2】

○生産基盤拡大加速化事業（増頭事業）

該当なし

⑥農作物有害鳥獣被害対策事業補助金

電気柵等を購入、設置した場合の購入経費を補助。

(中山間地域直接支払制度受益農地は対象外)

6件 143,747円 【補助率 1/2 上限 3万円】

⑦農業技術の普及・改善・指導・試験研究

農業関係の普及事業等について木曽農業農村支援センターやJAとの連携及び農技連の活動により推進した。

- ・農事(気象・防除等)に関する広報活動、農作業安全月間啓発活動
- ・稲作現地指導会 6月に26か所で実施
- ・のうさいドローンによる水稻防除作業への協力
- ・ヒペリカムやコウヤマキの出荷目揃い会等 7月
- ・えごま栽培講習会 年4回

(別表)

令和5年度 農政関係主要事業

1. 農業委員会事務局関係

単位：千円

事業名	事業量	事業費	左の財源内訳				備考
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
農業委員会運営経費（最適化事業）	14名	4,358		2,122			2,236
機構集積支援事業		894					894 農地台帳保守
合 計		5,252		2,122			3,130

2. 農業振興関係

単位：千円

事業名	事業量	事業費	左の財源内訳				備考
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
水田農業構造改善対策事業		71					71
中山間地域等直接支払交付金	165ha	35,316	17,603	8,801			8,912
素牛導入事業	1頭	60					60 自家保留1頭
NOUSAI家畜診療所運営負担		568					568
肥料高騰緊急対策補助金		1,470	3,272				7 コロナ交付金
飼料高騰緊急対策交付金		1,809					

コロナ交付金：新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金

7. 農村整備関係

(1) 町単小規模修繕事業

①土地改良施設修繕

中山間直接支払制度の対象地域外の施設修繕を実施した。

(水路 5 件)

②土地改良施設原材料支給

各地区で実施する施設整備のための原材料支給を行った。

(農道 1 件)

※事業費等、別表参照

(2) 土地改良施設維持管理適正化事業

与川一区「向田水路」を施工した。なお、一部は次年度へ繰越となった。

※事業費等、別表参照

(3) 農地農業用施設災害復旧事業

令和 5 年災は、豪雨により 5 月に 4 箇所（農道 1 箇所、水路 3 箇所）、6 月に 21 箇所（農地 4 箇所、農道 3 箇所、水路 14 箇所）、7 月に 24 箇所（農地 7 箇所、農道 3 箇所、頭首工 2 箇所、水路 12 箇所）が被災した。

被災した農地・農業用施設の内 1 箇所（農地 1 箇所）については、国庫補助事業にて復旧工事を実施し、その他は町単災害復旧事業により復旧工事を実施した。

また、国庫補助事業 2 箇所、町単災害復旧事業 5 箇所については、次年度へ繰越となった。

※事業費等、別表参照

(4) 県単緊急農地防災事業

土砂崩落危険箇所台帳に登録された危険性の高い水路を対象に県営で整備するもので、町は測量試験費と長土連特別賦課金を負担し、県が工事を施工する事業。

なお、令和 5 年度に施工を予定していた沼田地区「岩戸沢水路」の改良工事は、次年度へ繰越となった。

※事業費等、別表参照

(5) 農村地域防災減災事業

上越野・下切跨線橋（JR 跨線橋）は、令和元年度に大規模地震に対する耐震性の評価・耐震補強の検討を行い、災害防止効果の算定や事業計画を策定した。令和 2 年度に新規地区採択申請を行い、令和 3 年度に事業採択、令和 4 年度に県営事業にて下切跨線橋耐震補強設計業務を実施、令和 5 年度は同じく県営事業にて上越野跨線橋耐震補強設計業務を実施した。

(6) 小水力利活用促進事業

平成 30 年度から令和 2 年度にかけて建設工事を行い、令和 3 年 1 月 1 日から供用開始

し、発電した電気は中部電力パワーグリッド㈱へ売電している。

①細ノ洞発電所の主要設備

横軸ペルトン水車（UNTERLERCHER社） 1 基 オーストリア製
 三相誘導発電機（AREND社） 1 基 ドイツ製
 水車制御盤（㈲イー・セレクト） 1 台
 パワーコンディショナー 5 台
 沈砂池・ヘッドタンク L=15.18m W=1.0m H=0.9～1.45m
 導水管 強化プラスチック複合管 ϕ =250mm L=約250m
 高密度ポリエチレン管 ϕ =250mm L=約345m

②細ノ洞発電所の運営状況

歳 入		歳 出	
売電収入 (R5.3.7～ R6.3.6売電分)	6,812,370円 182,149kWh×37.4円 時間平均約20.8kWh	電気料	126,724円
		一般修繕費	0円
		委託料	1,742,476円
		使用料	65,400円
		他事業への充当	3,646,167円
		基金積立金	1,231,603円
合 計	6,812,370円	合 計	6,812,370円

(7) 南木曾町耕作条件改善事業

基盤や排水の不具合が発生している圃場が増えてきたことから、令和元年度に中山間集落協定地を対象として実態調査を行い、令和2年度から令和3年度にかけて国庫補助事業を活用した圃場の改修を関係機関と協議した。

協議の結果、国庫補助事業の採択要件を満たすことが困難な為、令和4年度から町単事業として、圃場の改修を希望する農家に対して補助金を交付する制度を創設した。

令和5年度は、7件（施工面積：16.0a、事業費：6,124,800円、補助金：4,585,000円）交付した。

(8) 国土調査事業

令和5年度の国土調査事業は、田立下切・栗畑・大野正兼の山林部を実施した。

調査区名	事業内容	事業費
田立の一部 28区	地籍図原図作成、地積測定、地籍図及び地積簿作成、最終取りまとめ 0.29km ²	12,934,660円 (11,560,000円) () 内補助対象額
田立の一部 29区	地籍図根三角測量、地籍図根多角測量、一筆地調査、細部図根測量、一筆地測量 0.36km ²	

※事業費等、別表参照

国土調査実施地区一覧

年 度	地 区 名	成果 面積	成果 筆数	区 分	認証日	登記完了 日
52 - 18	本谷～下切 28 地区	(k m ²) 17.23	(筆) 23,830	平地		
18 - 22	下切・塚野の一部 (山林) 4 地区	2.52	144	山林		
22 - 23	塚野の一部 (山林)	0.18	31	山林	24.11.12	25. 3. 8
23 - 24	塚野の一部 (山林)	0.14	44	山林	25.11.20	26. 6. 6
24 - 25	塚野の一部 (山林)	0.09	25	山林	29.11. 9	30. 2. 5
25 - 26	塚野の一部 (山林)	0.33	71	山林	30. 5. 7	30. 8.10
26 - 27	塚野・大野正兼の 一部 (山林)	0.46	105	山林	31. 2.21	元. 5.28
27 - 28	大野正兼の一部 (山林)	0.29	62	山林	元. 8.29	元.10.16
28 - 29	大野正兼の一部 (山林)	0.39	156	山林	2. 7. 6	2. 9.29
29 - 30	大野正兼の一部 (山林)	0.29	72	山林	3. 3.31	4.10.12
30 - 元	栗畑・大野正兼の 一部 (山林)	0.25	84	山林	4. 1. 6	5. 1.30
元 - 2	栗畑の一部 (山林)	0.39	37	山林	5. 1. 4	5.11.29
2 - 3	栗畑の一部 (山林)	0.17	96	山林	6. 3. 6	未
3 - 4	栗畑の一部 (山林)	0.22	113	山林	未	未
4 - 5	下切・栗畑・大野正 兼の一部 (山林)	0.29	112	山林	未	未
5 - 6	栗畑・大野正兼の 一部 (山林)	0.36	81	山林	未	未
計		23.60	25,063			

地籍調査対象面積 73.96k² (平坦部17.23k² 山林部56.73k²)

平坦部成果面積計 17.23k² (進捗率100%)

山林部成果面積計 6.37k² (進捗率11.23%)

(9) 多面的機能支払交付金事業

第2期対策（令和元年度から令和5年度）の5年目。（15活動組織）

農地の維持や施設の長寿命化に取り組む活動に対して交付金を交付。

交付金5,354,348円（内訳：国2,677,174円 県1,338,587円 町1,338,587円）

地区名	実施面積 (a)	支払交付金 (円)	地区名	実施面積 (a)	支払交付金 (円)
与川1区	843	561,224	神戸	279	170,700
与川3区	678	296,384	元組	898	268,700
与川4区	669	376,200	向栗畑	1,056	635,800
与川5区	329	98,700	栗畑	1,074	621,000
岩倉	842	640,216	下切	862	246,800
榑野	189	56,700	大野	626	280,448
川向	276	73,000	正兼	799	488,700
上の原	1,227	539,776	合計	10,647	5,354,348

[別表]

令和5年度 農村整備関係 主な建設事業及び補助事業

1. 土地改良事業関係
(1) 農道整備事業関係

事業名	実施箇所	事業量	事業費	左の財源			備考
				国庫支出金	県支出金	地方債 その他	
町単農道整備事業	与川三区	原材料支給 1箇所	28			28	生コンクリート V=1.0m ³
農村地域防災減災事業	上越野・下切 跨線橋	県営農村地域防災減災事業 上越野・下切地区負担金	1,170		1,000	170	県営事業負担金
小計			1,198		1,000	170	

(2) かんがい用水路改良事業

事業名	実施箇所	事業量	事業費	左の財源			備考
				国庫支出金	県支出金	地方債 その他	
土地改良施設維持管理適正化事業	与川一区 (向田)	水路改修 水路工 L=45.0m	3,792			79	前払金及び町単分の施工費用 残事業は次年度繰越 交付金収入も次年度繰越
町単水路改良事業	町内	水路修繕 5箇所	1,678			1,678	
小計			5,470			1,757	3,713

(3) 災害復旧事業関係

事業名	実施箇所	事業量	事業費	左の財源			備考
				国庫支出金	県支出金	地方債 その他	
国庫災害復旧事業	橋場	査定設計 一式	660	2,728		104	7月豪雨災害 ①農地復旧工 1工区 フトン管工 ΣL=12.0m 2工区 フトン管工 ΣL=9.0m 3工区 排土工 A=0.002ha V=4m ³ 4工区 フトン管工 ΣL=21.0m 5工区 排土工 A=0.003ha V=7m ³ ②農道復旧工 応急仮工事のみ施工、その他次 年度繰越 ※その他、実施設計費用と農地復 旧工A=0.01haは次年度繰越
		①農地復旧工 A=0.20ha	3,630				
		②農道復旧工 L=6.2m	484				
町単災害復旧事業	町内	修繕 41箇所 (農地 8箇所、農道 6箇 所、頭首工 2箇所、水路 25箇所)	12,521			344	※次年度繰越事業 (農地 1箇所、水路 4箇所)
小計			17,295	2,728		448	14,119

土地改良事業合計							(単位：千円)
			23,963	2,728	1,000	2,233	18,002

2. 国土調査事業関係

事業名		実施箇所	事業量	事業費	左の財源				内 訳		備 考
					国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源		
国土調査事業		田立28区 29区 (栗畑・下切 ・大野正兼 山林)	28区 (0.29km ² : 112筆)	12,935	5,780	2,890			4,265		
			29区 (0.36km ² : 81筆)								
			国土調査事業合計			12,935	5,780	2,890			4,265
(単位：千円)											
農村整備関係合計				36,898	8,508	2,890	1,000	2,233	22,267		
				(単位：千円)							

8. 林 務

(1) 林業振興関係

① 民有林振興対策事業

民有林振興対策として林業家の森林整備意欲等の向上を図るため補助を行った。

ア. 林業指導啓発事業

南木曽町森林組合による民有林の指導啓発活動をはじめ林業職員の技術向上事業に対して988,000円を補助した。

イ. 造林事業

森林所有者の負担軽減を図るため、除間伐を中心とする森林造成事業の森林整備費として森林組合を通じて422,031円を補助した。

実施された造林事業は、次のとおりである。

(単位：ha・円・m)

作業種	5 年度		4 年度		3 年度		備 考
	事業量	補助金額	事業量	補助金額	事業量	補助金額	
地拵え	—	—	—	—	—	—	
新 植	—	—	—	—	—	—	
下 刈	2.40	—	2.40	—	2.40	—	
枝 打	—	—	—	—	—	—	
除 伐	—	—	—	—	3.0	—	
獣害防止	7.39	—	4.17	—	1.88	—	
間 伐	14.10	422,031	15.75	378,737	33.25	821,262	
除間伐	—	—	—	—	—	—	
搬出間伐	3.13	—	6.68	—	9.39	—	
改 植	—	—	—	—	—	—	
その他	—	—	—	—	—	—	
(竹林整備)	—	—	—	—	—	—	
合計	27.02	422,031	29.0	378,737	49.92	821,262	
作業路	573	—	396	—	589	—	

*町有林整備事業を含む。

ウ. 特認事業

林業後継者対策事業として、南木曽町林業研究クラブに150,000円を補助した。

エ. 森林経営管理制度

木曽広域連合内に設立した森林経営管理制度に対応する部署と連携し、田立傘木地区(105林班)の委託先募集、読書柿其地区中山団地(16林班)の意向調査を行った。

木曽広域連合負担金：6,628,000円 与川地区川合地区(23林班)整備費：1,760,000円、与川川合地区(23林班)巡視：90,338円、妻籠城山地区(23林班)巡視：60,225円

オ.薪・ペレットストーブ設置補助金

2台の薪・ペレットストーブ設置に対して補助を行った。200,000円(100,000円/台)

カ.森林整備促進事業補助金

令和3年度より作業道新設・修繕に係る費用、令和4年度より皮剥防止に係る費用の補助金を交付している。令和5年度は該当がなかった。

キ.ライフライン等保全対策事業

令和3年度より町道、林道等の危険木伐採事業を行っている。令和5年度は上の原地区の危険木を伐採した。1,991,000円

ク.南木曽町林業担い手支援事業補助金

令和5年度より新たに林業従事者を育成する事業者に係る費用の補助金を交付している。令和5年度は4件の申請があり補助を行った。234,000円

②植樹祭

柿其国有林内において、令和5年度木曽森林管理署南木曽支署・南木曽町合同植樹祭を行った。参加者78名

③その他

・みどりの募金

期間 4月1日～5月31日

募金額 211,629円 内訳 世帯募金 207,500円 職場等 4,129円

街頭募金は、山林協会と木曽地域振興局林務課が、4月29日に妻籠宿ふれあい館前にて実施した。

・みどりの少年団

7月26日に、木曽町木曽駒森林公園で開催された木曽地区みどりの少年団交流集会へ南木曽小学校みどりの少年団18名が参加した。

・南木曽中学校1年生体験学習

4月14日 椎茸植菌作業事前学習（講師：木曽地域振興局林務課）

21日 椎茸植菌作業（講師：南木曽町森林組合、林研クラブ）

10月20日 林業体験事前学習（講師：南木曽町森林組合）

27日 読書天白地区だいの森において、林業体験として間伐作業実施

・森林の里親促進事業

福澤桃介が初代社長であり、愛知県名古屋市の本社のある、大同特殊鋼(株)がH28年度に創業100周年を記念して、福澤桃介ゆかりの地である南木曽町と森林の里親契約を締結している。今年度も昨年度に引き続き、森林整備のために年100万円の寄付をいただいた。令和5年度より同社の新入社員研修の会場が変更されたことによって参加人数が大幅に減ったこともあり、南木曽中学校1年生林業体験実施時に大同特殊鋼(株)の皆さん（参加者5名）と共に山林整備を実施した。寄付金にて委託により下刈、作業歩道修繕を行った。

(2) 町有林関係

①町有林造成事業

令和5年度の実施内容は以下のとおり

搬出間伐	(太田代町有林)	3.13ha
保育間伐	(下安町有林)	1.25ha
下刈	(天白町有林)	2.4ha
獣害防止	(峠町有林)	7.39ha

②山林委員会

町有林の管理・維持のため各地区に山林委員を委嘱している。

委員の方には受け持ち林班の巡視を始め、町有林経営計画に基づく施業の確認、体験学習等の指導、関連事業の立ち会いをお願いしている。

山林委員名簿

委員長：田中 淳司 副委員長：小幡 征海

読書	古根 一	吾妻	亀山 寿幸	田立	小幡 征海
	田中 淳司		尾崎 利輝		林 重利

任期：令和2年5月1日～令和6年4月30日まで 4年間

山林委員会は、2回開催した。

山林委員の町有林巡視の他、南木曽町森林組合に巡視の一部を委託した。

(委託料：264,000円)

(3) 林道開設・改良等事業

①林道開設 実施なし

②林道改良 秋葉山線改良工事で舗装工140mを施工した。

③作業道開設

太田代町有林搬出間伐業務に伴い搬出路として作業道を町有林内に開設した。

開設により高性能林業機械が進入可能となり作業効率が向上した。

太田代町有林作業道開設

R5年度 延長 573m、幅員2.0m

(4) カモシカ対策事業

民有林・国有林内におけるヒノキの幼齢木に対するカモシカの食害は、新植面積の減少により減る傾向にあるが、農作物を対象とした被害は依然として後を絶たない。

個体数調整事業は、第二種特定鳥獣管理計画に基づき被害状況から捕獲計画頭数を10頭で申請。長野県において審査の結果、申請と同数が計画頭数に認められ、10頭の捕獲実績となった。

(5) 森林病虫害等防除対策事業

・松くい虫防除対策

補助事業により南木曽町から大桑村への北上防止を実施するとともに、生活道路周辺の危険木と合わせ伐倒・くん蒸処理を実施した。

県補助事業により被害拡大防止に努めているが、北上防止を優先しており、大桑村町村

境周辺のみ実施としている。このためその他地域では処理が進まず、町内の被害は拡大している。枯損木となり公共施設等へ倒木することにより人身被害及び物損被害の懸念のある木については地権者の申請により伐採のみ町で実施している。

- ・カシノナガキクイムシ対策

町内各地で被害が出ており、枯損木が確認された。

県補助事業により、被害拡大防止のための被害木処理を実施している。

(6) 有害鳥獣駆除事業

南木曾町有害鳥獣駆除対策協議会では、令和5年度の駆除実施計画、南木曾町有害鳥獣被害防止計画について確認し、駆除班を編成して実施した。

有害鳥獣の駆除・追払い等の活動を実施する、「有害鳥獣駆除従事者」は、南木曾町猟友会員のうち講習受講者58名の登録とした。

合わせて、「有害鳥獣駆除従事者」により「鳥獣被害防止実施隊」を編成し、有害駆除を実施した。

新規狩猟免許取得者5名へ取得費用の補助を行い、有害駆除従事者・被害防止実施隊員の登録をした。

国補助事業により向栗畑地区へ侵入防止柵を導入した。また、岩倉地区の林道秋葉山線起点付近にて緩衝帯整備事業を行った。更にニホンザル用の捕獲檻3基、くくりワナ110基を購入し猟友会各支部へ配布した。

今年度も県からの依頼により、豚熱（旧称豚コレラ）蔓延防止の観点から捕獲イノシシの検査を猟友会の協力の下で行った。

- ・忠犬事業

忠犬による有害鳥獣の追い払い事業は、平成17年度から行われている。

令和5年度末までに本登録24頭が登録されている。本年度も忠犬の状態確認を行った。

- ・クマ被害対策

猟友会の協力の下、被害対策・捕獲を行っている。第5期ツキノワグマ保護管理計画における長野県への意見照会では、集落付近で錯誤捕獲となった場合は、人身被害を防止する観点から捕殺を含む対処を強く要望。このほか広報誌や区長配布による注意喚起や、広報無線による出没情報の周知を図っている。

(7) 治山事業（県事業）

- ・災害関連緊急治山事業

吾妻 上在郷 （谷止工 1個）

- ・復旧治山事業

読書 南栄町 袖ヶ沢（山腹工0.10ha）

読書 南栄町 袖ヶ沢（法切工、型枠工）R6へ繰越

- ・機能強化老朽化対策

吾妻 井戸沢（谷止工増厚2個）

吾妻 井戸沢（谷止工間詰補修等1個）R6へ繰越

- ・県単治山事業

読書 阿征坂（地滑り調査・解析・設計）

吾妻 下り谷 (山腹工調査測量)

吾妻 大妻籠 (測量設計)

- ・林地荒廃

読書 阿征坂 (山腹工0.15ha) R6～繰越

(8) 災害復旧事業

- ・町単災害分

林道秋葉山線暗渠排水溝つまり修繕

林道袖山線落石除去及び路面整地

林道播鉢線災害復旧工事

林道越野線崩落土砂撤去

林道日向平線陥没修繕工事

林道長根線土砂撤去工事

林道西山線災害復旧工事

林道細野山線災害復旧工事

林道畑沢線陥没修理工事

林道袖山線災害復旧工事

林道細野山線法面災害復旧工事

林道奥向夏虫線土砂撤去工事

林道播鉢線道路修繕工事

林道日向平線路面修繕工事

林道袖山線崩落除去工事

林道秋葉山線修繕工事

令和5年度林務関係主要事業

単位：千円

(1)林業振興関係									
事業名	事業主体	事業量 (ha、台、 m、箇所)	事業費	左の財源内訳					備考
				国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	
林業振興事業補助金 (指導啓発事業)	森林組合		988					988	
林業振興事業補助金 (造林事業)	森林組合	14.10	422					422	
林業振興事業補助金 (特認事業)	林研クラブ		150					150	
山林資源活用機器設置補助金 (薪・ペレットストーブ設置)	町	2	200		75		125		その他：森林経営管理基金
森林整備促進事業補助金 (作業道開設・修繕・皮剥防止)	町	0	0						その他：森林経営管理基金
ライフライン等保全対策事業 (危険木伐採)	町	1	1,991				1,991		その他：森林経営管理基金
林業担い手育成支援事業補助金 (新規林業従事者育成)	町内林業事業体	4	234				234		その他：森林経営管理基金
合 計			3,985	0	75	0	2,350	1,560	

(2) 町有林造成事業							単位：千円		
事業名	事業主体	事業量	事業費	左の財源内訳				備考	
				国庫支出金	県支出金	地方債	その他		一般財源
町有林造成事業	町	保育間伐 1. 25	635				200	435	下安町有林（田立塚野） その他：寄付金
		下刈・作業道補修 2. 40ha	773				773	0	天白町有林（読書天白） その他：寄付金
		獣害防止 7. 39	1, 155				227	928	峠町有林（田立塚野） その他：寄付金
		搬出・保育間伐 3. 13ha 作業道開設 573m	6, 168			2, 207		3, 961	太田代町有林（読書与川）
合 計			8, 731	0	2, 207	0	1, 200	5, 324	

(3) 林道開設・改良・維持事業

① 林道改良事業 単位：千円

事業名	実施箇所	事業内容	事業費	左の財源内訳				備考
				国庫支出金	県支出金	地方債	その他	
道整備交付金事業 林道秋葉山線改良工事	読書岩倉	舗装工	10,020	3,226	96			6,698

② 林道維持補修 単位：千円

事業名	実施箇所	事業内容	事業費	左の財源内訳				備考
				国庫支出金	県支出金	地方債	その他	
林道維持修繕	町内	・維持修繕	920	0	0	0	0	修繕5路線、7か所 恋路峠線、秋葉山線、袖山線、日向平線 長根線

③ 作業道開設 単位：千円

事業名	実施箇所	事業内容	事業費	左の財源内訳				備考
				国庫支出金	県支出金	地方債	その他	
	秋葉山線	路面補修	249.9					249.9

(4) カモシカ対策事業

① 事業費 単位：千円

事業名	実施箇所	事業量	事業費	左の財源内訳				備考
				国庫支出金	県支出金	地方債	その他	
カモシカ個体数調整事業	町内一円	10頭	570	0	0	0	0	570

② 捕獲実績 単位：頭数

年度	26	27	28	29	30	元	2	3	4	5	合計
頭数	8	9	10	10	5	3	4	10	6	10	75

(5) 森林病虫害等防除対策事業

① 松くい虫対策

ア 事業費

単位：千円

事業名	実施箇所	事業量 (m ³)	事業費	左の財源内訳				備考
				国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
松林健全化推進事業		131.24	5,644		3,898			1,746
(内 松くい虫被害)	三留野以北	(120.91)	(5,120)		(3,505)			(1,615)
(内 ナラ枯被害)		(10.33)	(524)		(393)			(131)
危険枯損木処理 (松枯)	町内一円	10.62	348					348
計		141.86	5,992	0	3,898	0	0	2,094

イ 枯損木の伐倒燻蒸処理量

単位：m³

年度	26	27	28	29	30	元	2	3	4	5	合計
処理量	491.67	201.65	291.42	253.27	186.50	190.50	155.34	165.89	158.47	141.86	2,236.57

(6) 有害鳥獣駆除事業

① 事業費

単位：千円

事業名	実施箇所	事業量	事業費	左の財源内訳				備考
				国庫支出金	県支出金	地方債	その他	
有害鳥獣対策事業	町内一円	一式	6,091				6,091	駆除報償金、大型檻等
鳥獣被害防止 緊急捕獲等対策交付	町内一円	一式	4,150	1,183			2,967	ニホンザル・ニホンジカ ・イノシシ 個体数調整
野生鳥獣総合管理対策事業	町内一円	一式	519		287		232	有害鳥獣捕獲者支援 ツキノワグマ放獣
鳥獣被害防止総合対策交付金	町内一円 田立 塚野	一式	1,606		1,605		1	ワナ、檻購入 侵入防止柵設置
忠犬による追い払い事業	町内一円	一式	83				83	訓練、状態確認、飼主傷害保 険
計			12,449	1,183	1,892		0	9,374

② 有害鳥獣駆除数実績

単位：頭数

駆除対象鳥獣	サル	イノシシ	クマ	キジバト	カラス	ノウサギ	ハクビシン	タヌキ	カワウ アオサギ	ニホンジカ	アライグマ	アナグマ
報酬単価	30,000	10,000	15,000	—	500	—	3,000	3,000	1,000	30,000	3,000	3,000
有害許可頭数等	90	100	必要数	10	30	5	50	90	10	120	10	20
駆除数	45	90	6	0	1	0	25	76	0	140	3	11
(前年度駆除頭数)	49	91	5	0	0	0	16	68	0	113	4	9

③ 熊の出没回数

単位：回数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
令和5年	1	6	10	5	5	6	2	2	0	0	0	1	38
令和4年	1	7	1	7	5	9	0	0	0	0	1	0	31

④ 忠犬登録実績

単位：頭数

	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
読 書	25	24	22	21	17
与川一区	2	2	2	2	1
与川三区	2	2	2	2	2
与川五区	2	2	2	2	1
十二兼	1	1	1	1	1
本谷	1	0	0	0	0
岩倉	1	1	1	1	1
戸場	1	1	1	1	1
川向	5	5	5	5	5
沼田	1	1	1	1	1
上の原	5	5	3	3	1
和合北	1	1	1	1	1
新町	1	1	1	1	1
東町	2	2	2	1	1
吾 妻	5	4	5	6	4
中町	1	1	1	1	0
橋場	1	1	1	1	1
大妻籠	2	1	2	3	2
下り谷	0	0	0	0	0
口広瀬	1	1	1	1	1
田 立	9	5	5	4	3
元組	1	0	0	0	0
向栗畑	2	2	2	1	1
栗畑	1	1	1	1	0
下切	1	0	0	0	0
大野正兼	1	0	0	0	0
塚野	3	2	2	2	2
合 計	39	33	32	31	24

(7) 治山事業費
県事業分 (R 5 年度完了分)

事業名	実施箇所	事業及び事業量		備考
災害関連緊急治山事業	上在郷	谷止工	1個	請負金額 33,858千円
機能強化・老朽化対策事業	井戸沢	谷止工補修	2個	請負金額42,779千円
復旧治山事業	袖ヶ沢	山腹工	0.10ha	請負金額26,653千円
林地荒廃防止事業	阿征坂	山腹工調査設計	一式	請負金額3,910千円
県単治山事業	阿征坂	地すべり調査	一式	請負金額3,971千円
県単治山事業	大妻籠	山腹工調査設計	一式	請負金額7,227千円
県単治山事業	下り谷	山腹工調査設計	一式	請負金額4,686千円